

# 12月の作文課題

課題①～④から自由に選んで  
作文を書きましょう。400字以内

## 今月のねらい

- ◆ぐちについて考える
- ◆戦争の傷跡について考える



作文の締め切り日は、  
12月  
\_\_\_\_日です!

締め切りを過ぎてても添削はできますから、決してあきらめずに提出してくださいね。

### ① 晩秋初冬の味わい

もはや年末と思うと、気もそぞろに落ち着かない日々が続いています。俳人の種田山頭さんとう火は、晩秋初冬は私の最も好きな季節。」と言っていますが、若い草葉に後をゆずって散る古い葉の営みを、あなたはどう思っていますか。  
 やっぱり一人はさみしい枯草  
 枯れゆく草のうつくしさに すわる 山頭やまがしら  
 (火作)  
 落ちて土になり、木々の栄養になる枯れ草の姿を見れば、おのずと命の循環のようなもの



### ③ ほだしのゲン

あなたは、「ほだしのゲン」を読んだことがありますか。絵本も含めて一千万部をこえ、十八カ国語に翻訳されています。この漫画は、原爆の悲惨さと、それでも麦のように伸びて生きる少年がテーマとなっています。作者の中沢啓治さんは、原爆投下の時、爆心地に近い校門の前で被爆しました。父、姉、弟を亡くし、妹も栄養失調で失い、翌年母親も亡くなりました。お母さんは骨さえ残さず、火葬後に白い破片と粉があるだけだったそうです。そんな中から自伝を描くのに絞った涙と勇氣は、いかほどだったでしょう。今一度、戦争の傷跡を考えてみませんか。

### ② めちをこぼす

みなさんは、「めちをこぼす」ことがありますか。例えば、絶対負けない試合だったのに、○○さんがミスしたせいで負けた。ああ悔しい!」などといった口にしたり…。普段なら物事なんてそんなものだと思いが分かった風を装っているのに、いざカーッと腹が立つと自分の考えや都合が優先してしまい、道理なんて吹っ飛んでしまうことはありませんか。言っているのではないことを、  
 つい感情にまかせて嘆いた体験を書いてみましょう。めちをこぼす  
くろ ソニエナミナキミシミンニヨ。



### ④ 高校受験用

アメリカシカゴ大学の研究チームが、試験の直前に不安な気持ちを書き留めるだけで、重圧に負けず本来の実力が発揮できることを発表しています。試験前の作文には、過去のつらい体験を文章にして心の傷をいやす心理療法と似た効果がある」との実験研究データだそうです。そこで今回は、試験前の不安な気持ちを作文にしてください。題は自由です。